

市議会報告

2014年 中村亨「もっず」通信:NO. 9号
連絡先:020-0853盛岡市下飯岡3-22-1
TEL019-658-1111FAX019-658-0505
メールアドレス tohru.nk@gmail.com

発行2014年2月「市民連合」(盛岡市議会議員)中村とおる議会活動報告



2014年が幕開けし、1ヶ月過ぎましたが、この紙面から皆様にご挨拶を申し上げます。「本年もどうぞ宜しくお願い致します」

昨年は、8月9日の大雨や9月の台風18号などの災害に見舞われた年でありましたが、今年は穏やかに暮らせる年になって欲しいと心から願うものであります。

12月定例会での一般質問登壇状況



この議会活動報告の作成に関する経費は、政務活動費を充当しております。

私の12月定例会における一般質問趣旨

東日本大震災から三年目の冬を迎え、内陸避難者や沿岸被災自治体への支援事業・経済的連携について。政府・与党が決定した農政転換が盛岡市の農業政策への影響。また、市職員等の月例給の削減措置は、来年度戻す方針であるのか。教育行政において、教材費や管理用備品費の予算配分が少ない状況なのでは？

12月定例会は12月3日から12月20日までの18日間の会期で行われました。

主な議案としては、平成25年度盛岡市一般会計補正予算(第8号)における歳入歳出予算総額に13億766万円を追加し、1,098億1,472万円とする議案をはじめ、中央卸売市場費の特別会計補正予算(3号)、水道事業会計補正予算(3号)などの補正予算関係議案。

国体開催に向けての国体推進局の設置に関する盛岡市部等設置条例の一部改正、盛岡駅西口自転車等駐車場に自動二輪車も駐車出来るようにする盛岡市自転車等駐車場条例の一部改正など、171施設の指定管理者の指定などの146件の議案が可決されました。

中村とおる「一般質問」要旨



昨年12月21日に全線開通した国道46号盛岡西バイパス開通式典に出席



私は街路樹の剪定に関して以前も質問しましたが、これまでも市民の皆様から街路樹の管理に関してのご意見をいただいております。今回も東北電力やNTT等占有者と剪定に関する協定を結んで適正な剪定管理をするべきでは？直営での剪定を行う造園技師の増員を図るべきの質問に対し、市長答弁は、花と緑のまちづくり事業を實踐し、ハンギングバスケットの設置や環境緑化まつりの開催など街路樹、公園樹木の管理は重要な業務と認識しているが、業務量に見合った適正配置を行ってまいりたい。とあまり前向きでない答弁がありました。

東日本大震災から三年の冬を迎えるが

質問 内陸避難者や沿岸被災自治体に対して今後どのような支援事業や経済的連携を図って行くつもりなのか。

市長答弁 本市では、今なお1,400名を超える被災者の方々が避難生活を送っており、引き続き、被災者お一人おひとりの希望やニーズを踏まえ、一日も早く生活が再建できるよう、生活再建への情報・相談、避難者の心のケアなど、きめ細やかな支援を行って参りたい。また、被災自治体では、復興を着実に進めるためのマンパワーが不足していることから、職員派遣や復興支援を行う民間団体への支援を実施し、行政活動や社会活動が円滑に進めるよう努めてまいりたい。経済連携については、被災地を含む県内の経済を牽引することが県都としての大きな使命であると認識しており、復興情報や被災地の商品を積極的に全国に発信するなど、引き続き連携に努める。

政府・与党が決定した農政転換について

質問 政府・与党が決定した農政転換は、戸別所得補償制度を廃止し、転作物への助成で米の生産調整を行う、旧来からの自民党の農業政策に戻り、現行の一律助成単価を収量による仕組みに変更し、生産拡大を誘導。多収性品種導入や加工用米の複数年契約への助成も創設するとされたが、どう受け止めているのか。

市長答弁 5年後をめどに生産数量目標の配分をやめ、生産者自らの経営判断により生産を推進。現時点で新たな仕組みや施策展開に伴う支援策などについて、具体的に示されていないことや、十分な説明がないことから、農家におきましても米価下落や販売競争の激化、飼料用米の増産に伴う需給体制の整備など不安を抱えている状況にあるものと存じております。

農政転換に伴う市の農業政策への影響について

質問 自主的経営判断で主食用米を含めた作物が作れる環境整備を目指すとしているが、飼料用米への誘導は、畜産側の受け入れ態勢や流通の仕組み等の環境整備が必要で、どれだけ増やせるか未知数であり、転作が失敗すれば、過剰作付、米価格の下落、耕作放棄地の増大が懸念されるが、今後の市の農業政策への影響は。

市長答弁 指摘のとおり、飼料米への誘導など、経営環境の変化に農家に対応できない場合には、米価の下落や耕作放棄地の増大などが懸念されます。市と致しましては、国の支援策や情報の収集・農業関係団体と連携した対応を図り、安定した営農を継続できる環境を整えることが重要と思う。

教育行政における教材費について

教育部長答弁：最近の教材費の基準財政需要額に対する予算措置の状況ですが、小中学校あわせて、平成22年度決算ベースで32.7%、23年度は、69.9%、24年度は38.2%となっております。また、一校あたりの教材整備費は平成22年度で887,857円、23年度で2,013,143円、24年度で1,147,873円、児童生徒一人当たりの教材整備費は、平成22年度で2,686円、23年度で6,086円、24年度で3,559円となっております。次に教材整備計画については、現在は各校からの要望に基づき教材備品の購入を進めているところであり、教材整備に関する予算措置についての見解ですが、基準財政需要額に対する整備率は変動がございますが、低い状況であると認識しております。新たに必要ない教材もございました。また、予算の増額に努めてまいりたいです。

質問：最近の盛岡市の教材費の基準財政需要額に対する予算措置の状況、また、一校あたり、児童生徒一人当たりの平均教材費は？。また、文部科学省から、平成24年4月に教材整備の新たな参考資料として「教材整備指針」を取りまとめられており、また、義務教育諸学校における新たな「教材整備計画」を策定し、平成24年度からの10カ年で、約800億円の地方交付税措置を予定しているが、市の教育委員会においても教育の機会均等を図る上で、複数年時の教材整備計画の策定が必要なのは？。また、教材整備に関する予算措置状況の見解は？。



フォレスト長岡の総合窓口のカウンターには？の案内板。どなたでも気軽に尋ねやすい環境づくり。

現に行われている市職員等の月例給の削減措置について、さる10月11日「国と地方の協議の場」が設けられており、前段においては総務省内で総務大臣らと「地方公務員給与に関する意見交換会」が開催されております。地方六団体側の意見は、「民間に対して給与の引き上げを要請しているが、(地方公務員給与を引き下げているため)相手にされない」「給与削減がデフレの足を引っ張っている」また、地方交付税を利用して政策誘導する今回のような手法は二度と実施しないよう要請した。とされているが、現に行われている市職員等の月例給の削減措置を来年度から戻す方針であるのか。谷藤市長は、閣議において国家公務委員の給与減額を平成26年度は継続しないとされた。地方公務員給与に関しても減額要請を行わないとされたことから、平成26年度は行わない。と答弁しました。

学校等の維持管理に対する予算措置について

教育部長答弁：管理用備品費については一括管理しておりますが、消耗品費については年度当初に児童生徒数割、学級数割、学校割等を考慮してはいけません。原材料費、修繕費については、建物の用途、延床面積、経過年数を考慮して配分しております。一校あたりの原材料費ですが平成25年度配分予算では、小学校では平均約3万7千円、中学校では平均約4万1千円を配分しております。次に学校内の維持管理業務や業務の安全確保についてですが、施設修繕や樹木の剪定各学校の要望や現場の状況を勘案のうえ予算確保して対応してまいります。安全確保については、職員の作業に関する実態調査や安全対策の総点検を行い、その結果を踏まえ、安全保護具の配備に努めてまいります。

質問：各小中学校に関する管理用備品や消耗品、原材料費、修繕費等は教育委員会で一括管理をしているのか。各学校の用務員が業務の中で必要な原材料の一校あたりの予算額は。今回の事故や従前の維持管理業務のあり方や安全確保に関する考えは。



フォレスト長岡(市役所)の一階広場には、大きな情報掲示板が、隣には5000人収容できる催事場も完備しており、シティプロモーションの一端を感じ取ってきました。



2014年1月5日盛岡城跡公園にて開催された出初式の様子。当日は足元から冷え込みが増す中、消防団の皆様一糸乱れぬ行進に感動いたしました。日頃からの市民の生命と財産を守るために活動していることに感謝申し上げます。



大通りでの行進の状況。



市道の穴ぼこへの対応について

質問：この間、議会への報告案件のなかで、市道に生じた穴に車両等が接触損傷し、その修理費用等の補償額を専決処分したことが出てきます。幸い大事故に繋がっておりませんが、摩耗・クラックが入っている舗装道路も多く見られ、穴が空いている路線も未だ多くあります。今後冬期間を迎え、クラックに水が浸み込み凍結し、穴となつて行く状況が生じます。この間、職員や委託舗装業者等にも舗装の穴に関する情報提供に努めておるとは思いますが、しっかりと対応を図るためにも職員を増員し、直営でのパトロール体制を構築し、穴に対する応急措置が的確に取れる維持補修に関する予算措置を講じるべきと考えますが、道路管理者である市長の見解は。

市長答弁：事故防止には情報把握が重要なことから、担当職員や舗装補修委託業者によるパトロールに加え、一般職員、通学路等、タクシー協会盛岡支部への情報依頼や市内郵便局と情報提供協定のほか、広報による呼びかけ、対応が必要な個所の早期把握に努めております。今後とも予算措置につきましても市道の安全な通行を確保する上でも適切に対応するとともに業務量に見合った適正な職員配置を行ってまいりたい。

今議会での市側答弁に対する自分の受け止め

* 学校教材費に関して

○教育行政は教育長のもと、教育委員会が担っておりますが、教育予算については市長部局で予算配分が行われております。ですから私としては基準財政需要額に対する教材費の予算措置割合や学校あたり、児童生徒一人当たりの額がどれくらいなのかを質問致しました。確かにこの数値だけの単純比較とはできませんが、現に盛岡市の教材費は十分ではありません。再質問で財政部長にこれらの数値をもとに今後の予算措置の考え方を質問しましたら、財政部長は今後策定される盛岡市としての「複数年時の教材整備計画」を踏まえて・・という答弁を引き出したことは、今後、教育委員会がこの計画を策定することにより、予算要求増額への基盤となることが明らかとなったことは前進と受け止めています。

* 道路の穴ぼこや街路樹の剪定に関して

○市長答弁は前向きでないと受け止めており、穴ぼこに関する車両事故に対する損害賠償について議会に報告されますが、近ごろ同一路線で複数の事故に対する損害賠償が報告されている状況もあります。また、街路樹や公園の樹木管理にも皆様からご意見を伺っており、やはり身近な生活環境に対して、組織体制を含め抜本的な対策を講じる必要があります。